

2014-2015 年
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
外国人研究員（客員研究員）の公募について

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所では、「アジア・アフリカの言語文化に関する国際的研究拠点」の活動の一環として、2014 年から 2015 年の間、アジア・アフリカ言語文化研究所に滞在し、共同利用・共同研究課題に参画して中核的役割を担う外国人研究員を客員研究員（客員教授又は客員准教授）として公募いたします。

1. 外国人研究員の要件

外国人研究員は、以下のすべての要件を満たすこととします。

- 1) 2014 年から 2015 年の間、アジア・アフリカ言語文化研究所に滞在し、共同利用・共同研究課題（2014 年から 2015 年に実施する課題は、別紙一覧のとおり）に参画して中核的役割を担うことが期待されます。なお、2014 年 4 月から開始される共同利用・共同研究課題に関しては、決定後、速やかに公示しますので、ご注意ください。
- 2) 当該課題の終了時には、論文を執筆するなどの形で共同研究の成果公開に寄与しなくてはなりません。
- 3) 原則として日本国外の学術研究機関に在職する常勤研究者とします。但し、日本国籍の方でも、日本国外の学術研究機関において概ね 10 年以上にわたり、原則として常勤研究者として活動している方は応募可能です。
- 4) 客員教授又は客員准教授としての研究上の能力を有する研究者とします。

2. 募集人数

5 名程度

3. 滞在期間

滞在期間は、4 か月以上とします。また、滞在期間は、2014 年 9 月から 2015 年 3 月までの 7 か月間を第 1 タームとし、2015 年 4 月から 7 月までの 4 か月間を第 2 タームとします。応募に際しては、①第 1 タームのみ、②第 2 タームのみ、③第 1 ターム及び第 2 ターム連続の別により申請してください。なお、①及び③の場合にあっては、研究に必要な 4 か月以上の期間を明記してください。

4. 雇用要件及び待遇

- 1) 東京外国語大学の規定に基づき、給与を支給します。
- 2) 研究費を支給するとともに、研究室等、本研究所の施設・設備を利用することができます。宿舎については、本学の国際交流会館を貸与します。
- 3) 雇用期間中は、社会保険制度が適用されます。
- 4) 規定に基づき、赴任及び帰国旅費を支給いたします。なお、家族を同伴される場合、家族にかかる旅費は支給されません。
- 5) 滞在期間中に、当該共同利用・共同研究課題の研究会における口頭発表及び研究成果報告書の提出が求められます。

- 6) 滞在期間中は、アジア・アフリカ言語文化研究所を拠点として研究を行うこととします。

5. 申請方法

1) 事前協議

応募にあたっては、ご自身が参画を希望する共同利用・共同研究課題の研究代表者（コーディネータ）、又は共同利用・共同研究課題の研究代表者が他機関に所属の研究者である場合は、同課題に参画するアジア・アフリカ言語文化研究所の所員（サブ・コーディネータ）に事前に連絡のうえ、研究計画について十分な協議を行ったうえで、その所員を受入担当者として応募書類に明記してください。

2) 応募書類

以下の書類を揃え、2014年1月17日（必着）までに、アジア・アフリカ言語文化研究所長に原本を提出してください。応募書類は、英語ないし日本語で記載してください。また、応募書類は返却いたしません。

- ① 申請書、履歴書及び職歴書（所定の様式）
- ② 研究業績リスト（様式自由）及び主要業績3点（論文の写しでも可）
- ③ 共同利用・共同研究課題と申請者の研究上の関連性及び滞在期間中に申請者が当該課題において果たす役割と共同研究終了後の成果発表予定（A4判1枚以上）
- ④ 所属機関長又は所属機関の部局長からの応募に関する同意書（所属機関のレターヘッド用紙により作成してください。）

6. 選考結果の通知

2014年3月下旬までに、申請者に通知いたします。

7. 問い合わせ先

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・研究協力課

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

e-mail: ofias-office@tufs.ac.jp

Tel. +81-42-330-5594 Fax. +81-42-330-5599

2014－2015年 外国人研究員公募課題一覧

<<言語系>>

- アフリカ諸語のイベントの統合のパターンに関する研究 *
- 日本語のノダに類する文末談話標識の通言語的研究：「思考プロセス」の観点からのアプローチ *
- 準動詞に関する通言語学的研究 *
- 通言語的視点から見たオーストロネシア諸語の情報構造 *
- 複雑系としての言語：運用に基づく文法理論の可能性
- “人間一家畜一環境をめぐるマイクロ連環系の科学”の構築～青海チベットにおける牧畜語彙収集からのアプローチ
- 朝鮮語アクセント・イントネーション研究
- インドネシア周辺の少数言語・危機言語ドキュメンテーションに関する研究ネットワークの構築

<<人類学系>>

- 地域民族誌の方法論と人類学的空間構想力の可能性の探求 *
- 思考様式および実践としての現代科学とローカルな諸社会との節合の在り方 *
- 人類社会の進化史的基盤研究 (3)
- 「もの」の人類学的研究(2) (人間／非人間のダイナミクス)
- インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間 *

<<歴史学・地域研究系>>

- 現代アフリカにおける<国家的なもの>に関する研究：ニューメディア・グローバリゼーション・民主主義 *
- 前近代南アジアにおける中間的諸集団の再検討
- ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容 *
- 歴史的観点から見たサハラ以南アフリカの農業と文化 (2)
- イスラームに基づく経済活動・行為 *
- 中東都市社会における人間移動と多民族・多宗派の共存 (第2期)
- 新出多言語資料からみた敦煌の社会 *
- 里耶秦簡と西北漢簡にみる秦・漢の継承と変革—中国古代簡牘の横断領域的研究(2)
- 近世イスラーム国家と周辺世界
- シティズンシップと政治参加 —移民／難民によるコミュニティ形成と社会福祉への影響の比較研究—
- アフリカに関する史的研究と資料
- 東南アジアのイスラームと文化多様性に関する学際的研究 (第二期) *

*課題名をクリックすると、各課題の概要をご覧になれます。

「」のついた課題は、研究代表者（コーディネータ）が本研究所の所員ではありません。応募の際はご注意ください。